

広報委員会

1. 役割と基本方針

JIRA活動を広く外部へPRするにあたり、一元化された情報により効果的な広報活動が出来るよう計画・実行してJIRAのイメージ・アップを図る。また、JIRA会員に対する情報伝達についても、タイムリーで分かりやすい内容となるように心掛け、会員企業における情報共有を進めてJIRA活動の活性化を図る。

2. 2016年度の主な活動項目とその成果

(1) 「DataBook 図表で見る画像医療システム産業 2016」の発行

「DataBook 図表で見る画像医療システム産業 2016」を2016年4月15日に発行し、ITEM 2016（パシフィコ横浜）の記者発表会でマスコミへ公表した。

このDataBookは、画像医療システム産業を取り巻く環境や産業の現況がより簡便により明確に読み取れるよう、データと資料を基本とし、画像医療システム産業への理解促進・医療政策立案・会員企業の戦略立案などの資料として活用されることを趣旨として2012年度から発行している。関連する数値データ、グラフ、説明図などの資料を収集し整理して提供することが中心ではあるが、資料にはJIRAの見解、主張をコメントとして付記することとしている。

DataBook2016では、将来に向けての政府や産業界の取り組み状況について整理した章である「3章 医療機器産業の将来展望」を充実させることを目指して、「日本再興戦略」改訂2015や医療・介護サービス提供体制に対する国家戦略、等について多くの内容を追加した。「1章 医療機器産業の現状、2章 画像医療システム産業の現状、3章 医療機器産業の将来展望、4章 JIRAの概要、5章 経済・医療環境の関連統計」の全5章の構成は維持した。

(2) 「Data Book 図表で見る画像医療システム産業 2017」の編集・発行

「Data Book」発刊の趣旨を踏まえ、2017年版として、最新のデータおよび情報に基づく改訂を実施する中で、実際にはその後の更新データが入手できない項目もあったが、データの継続性・一覧性を確保する観点からそのまま掲載するものと、既に役割を終えたと判断し削除するものとに峻別し、データの更新・追加・削除を行った。

今回の発刊にあたっては、全体構成を各項目の繋がり観点で整理し、新たに中分類を導入する等により、より理解しやすくなるような工夫を加えた。また、「3章 医療機器産業の将来展望」を充実させることを目指し、「日本再興戦略2016—第4次産業革命に向けて—」やICTを活用した「次世代型保健医療システム」の姿、等について多くの内容を追加した。

(3) JIRA会報の発行

- ・ JIRA会報No.202（前年度活動報告特集号）…2016年6月発行（冊子およびWeb）
- ・ JIRA会報No.203 …2017年1月発行（冊子およびWeb）

[会報（1月発行分）編集方針]

「各部会・委員会からのトピックス」については、単なる部会・委員会の活動報告ではなく、会員企業に周知すべき国内外の法規制や国家戦略・施策、医療行政の動き、診療報酬改訂動向、市場情報などのトピックスの解説、またJIRA会報発行時点で内容を整理しておく

べきJIRAの対外活動の経過や成果紹介などに特化することとした。

JIRA創立50周年記念の年であり、50周年記念ロゴを採用し、表紙についてはカラー印刷とした。

(4) JIRAテクニカルレポートの発行（技術広報専門委員会）

- ・ No.50（新製品・新技術紹介）創刊25周年記念号 …2016年4月発行（冊子およびWeb）
- ・ No.51（日本放射線技術学会秋季学術大会 JIRA 発表会抄録集）
…2016年10月発行（冊子およびWeb）
- ・ No.52（新製品・新技術紹介） …2017年4月発行（冊子およびWeb）

JIRAテクニカルレポートの発行目的は、「会員企業の新製品・新技術を技術的な側面から紹介する場を提供し、特に発表の機会が少ない中小企業・IT企業にも発表の場を提供することにより、JIRAとして企業振興へ寄与すること」である。さらに、「春季、秋季の2回／年、印刷物による発行を基本とし、HP（一般向け）にも掲載する」「非会員であってもITEM展示への参加企業（非会員参加費負担）に対しては同様の趣旨で募集し、JIRA活動への理解とJIRA入会への動機付けとする」との運用方針としている。

(5) 会長記者発表

報道機関向けにJIRAの事業、工業会活動などを発表する会長記者会見を次の通り開催した。

- ・ 2016年4月15日 ITEM会場にて「会長記者発表」を開催し、「2016年度JIRA活動基本方針」「平成28年度診療報酬改定について」「医療機器規制の国際的整合を目指すIMDRFへの働きかけについて」および「ITEM2016概要」「第13回画像医療システム等の導入状況と安全確保に関する調査報告書（概要版）」「DataBook2016」について発表した。（出席：12社17名、関連ニュースリリースも配信）
- ・ 2016年6月2日「JIRA平成28年度定時社員総会および第5回JIRA活動報告会開催のご案内」を報道関係者に案内した。（会員向けの総会・活動報告会のため、質問は不可、写真撮影は制限有り。出席：11社14名）
- ・ 2017年1月11日JIRA新年会時に「会長年頭所感発表会」を開催した。（出席：11社15名）

(6) 「JIRA概要（8ページ冊子、日本語版）」の見直し

- ・ 社員総会終了を受けて、2016年度として見直しを実施し、会長挨拶、JIRA組織図、市場統計データなどを更新した。

(7) 「医用画像・放射線機器ハンドブック」検討WG活動（5回開催）

- ・ 2007年発行の改訂第7版「医用画像・放射線機器ハンドブック」の改訂について検討した。
- ・ 当時は技師学校教科書等として使用されていたが、その役割は終了したと考えられ、多大な手間を掛けて改訂しても発行部数は限定的になるとの判断から、改訂はしないことを決定。
- ・ 現ハンドブック（2007年発行 改訂第7版）のPDF版、および、テクニカルレポート各号に掲載済みの「技術解説」を纏めて「JIRAテクニカルレポート 技術解説集」としてJIRAホームページで公開（2017年3月～）し、関係者に広く活用して貰うこととした。

(8) 報道機関向け「PRESS RELEASE」「PRESS INFORMATION」配信（産業戦略室と連携）

2016年4月15日 「2016国際医用画像総合展（ITEM in JRC2016）JIRA記者会見」

2016年4月15日 「第13回画像医療システム等の導入状況と安全確保に関する調査報告書」
結果概要公開の件

2017年1月11日「2017年 JIRA 会長 年頭所感」

- (9) 医用画像電子博物館 (EMMI) の保守 (EMMI 合同専門委員会)
- ・各装置分野 (X線、MRI、治療装置) の年表更新をほぼ完了。今後の更新サイクルを5年程度と決めた。
 - ・各装置の開発にまつわる談話などを関係者に聴取開始。今後、公開手段を検討する。
- (10) その他の活動
- ・「JIRA ニュース」を月1回「会員会社」へ電子配信した。(事務局)
 - ・平成28年度「子ども霞が関見学デー」展示に参画した。(2016年7月27、28日)
- (11) 活動実績：広報委員会の開催：19回／2016年度

3. 2017年度の活動計画概要

「JIRA 画像医療システム産業ビジョン2020」を踏まえた「2017年度 JIRA 活動基本方針」に沿って広報活動を展開する。

特に、2017年は JIRA 創立50周年記念の年であることを内外にアピールすることに留意して活動を進める。

産業戦略室と協力して、グローバルな視点で戦略的広報を推進する。

- (1) 「Data Book 図表で見る画像医療システム産業」を、2016年度内に行う掲載内容の見直しを踏まえて内容を更新し、2017年4月に発刊する。発刊後は、資料をさらに充実させていくために次号の企画も行う。
- (2) 下記の発信を JIRA ホームページに掲載する形で行う。さらに、JIRA 概要、JIRA 会報、JIRA テクニカルレポートについては冊子として発刊する。また、JIRA ニュースと JIRA 会員向けホームページを連動させてタイムリーな情報発信を行う。
 - ・ JIRA ニュース (担当：事務局) (発行予定：1回/月)
 - ・ JIRA 会報 [トピックス編] (発行予定：2018/1)
 - ・ JIRA 会報 [活動報告編：総会用] ※50周年記念号 (発行予定：2017/6)
 - ・ JIRA テクニカルレポート (発行予定：2017/4、2017/10)
 - ・ JIRA 概要 (日・英) (発行予定：2017/7)
- (3) 技術広報専門委員会、海外広報専門委員会、EMMI (医用画像電子博物館) 合同専門委員会等の広報委員会関連組織との連携を強化し、JIRA ホームページを活用したタイムリーな情報発信に努める。
- (4) ホームページリニューアルWGの活動として2016年度に準備する新Webサイトを、50周年記念行事に合わせて2017年5月に公開できるよう纏め作業を行う。これにより、JIRA ホームページに掲載する情報の整理による見やすさの向上と JIRA 会員数拡大への貢献を目指す。さらに、次のステップとして、更新作業性向上のためのCMSの導入や、登録者への更新情報の自動通知機能を実現し、運用面での改善を進める。
- (5) 会長記者発表会の準備・運営を行う。プレゼンテーションデータの準備にあたってはビジュアル化に努め、デザイン性を向上させてプレス関係者への十分なアピールを目指す。
 - ・ [ITEM時] JIRA 会長記者発表会：2017/4
 - ・ JIRA 会長年頭記者発表会：2018/1
 その他の JIRA 定例及び50周年記念行事に合わせてプレス関係者を招聘し、広報活動としての情報発信に努める。
 - ・ JIRA 社員総会/活動報告会 ※50周年記念行事：2017/6

- ・ JIRA 画像医療システム産業研究会 ※50周年記念：2017/12
- (6) 厚労省／医機連イベントへの協力
 - ・ 子ども霞ヶ関見学デー厚労省医政局経済課展示エリアに出展：2017/8